

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆景気「緩やかに回復」維持 3月の月例報告

・政府は3月の月例経済報告で、国内の景気判断を「一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している」と据え置いた。2024年8月から同じ判断を維持。項目別では企業収益の判断を「改善している」と23年9月以来の上方修正。24年10～12月期の法人企業統計では金融・保険業を除く全産業の経常利益が2四半期ぶりにプラスに転じた。

◆訪日客、2月最高の325万人 春節の中国人客が増加

・日本政府観光局(JNTO)が発表した2月の訪日外国人数は325万8100人と、前年同月から16.9%増。2月としては過去最高を更新。春節(旧正月)に中国からの訪日客が増えたことが全体を押し上げた。米国やオーストラリアからはスキーを目的とした来訪が多かった。2月の訪日客を国・地域別にみると、韓国が84万7300人で最多だった。

◆貿易収支、2月は5845億円の黒字 2カ月ぶりプラス

・財務省が発表した2月の貿易統計速報によると、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は5845億円の黒字。黒字となるのは2カ月ぶりとなる。輸出は春節(旧正月)の影響で中国向けが伸びたほか、米国向けも自動車などが増加。貿易黒字額は21年3月の6098億円以来、およそ4年ぶりの大きさ。増加は5カ月連続となる。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆H形鋼在庫が半年ぶり多さ 2月末、需要の弱さ続く

・日本製鉄の鋼材を扱う流通事業者でつくる「ときわ会」がまとめた2月末時点のH形鋼在庫は、21万500トンと前月から900トン(0.4%)増えた。3カ月連続の増加で、2024年8月末以来半年ぶりの高水準となった。建築向けの需要が弱い状況が続き、出荷が鈍かった。

◆25年の公示地価、4年連続で上昇 住宅地も地価上昇続く

・国土交通省はこのほど、2025年1月1日時点の公示地価を公表した。地域や用途による差はあるものの、景気が緩やかに回復する中で全体的には上昇基調が続き、全用途平均では2.7%の上昇に。4年連続の上昇。住宅地(2.1%上昇)、商業地(3.9%上昇)も4年連続で上昇し、上昇幅も拡大した。

◆機械受注残高、過去最高41兆円 人手や輸送力の不足影響

・人手や輸送能力の不足が、機械設備の納期に影響を及ぼしている。内閣府が19日発表した機械受注統計によると、注文を受けたが納品していない受注残高は1月時点で41兆6117億円だった。資材価格の高騰で機械価格も上昇しており、比較可能な2005年以降で最も高かった。受注残高は5年前の28兆円から1.5倍に増えた。

《 注目商品 》

■ダイキン工業、「床置形ハウジングエアコン」

・「足元暖房気流」で、足元に沿わせた温風を室内のより遠くまで届ける『床置形ハウジングエアコン』を5月19日に発売。最高55℃まで上げた「高温風モード」、「うるる加湿」を搭載。暖房使用時に気になる乾燥にも対応でき、快適な室内環境を実現。



■岩崎電気、屋外用スポットライト「unis Spotlight」

・景観街路照明のフラッグシップモデル「unis(ユニス)」シリーズに「スポットライト」12形式を新ラインアップ。「Lighting Orchestration」をコンセプトに、オーケストラの楽器が美しいハーモニーを奏でよう多彩な光で調和された空間創出、人の営みや環境により添う屋外照明。



■日本自動ドア、簡単設置で自動ドアに「開き戸用スイングオペレーター」

・既存の開き扉に設置するだけで、引き込みスペースが確保できない場所でも手動ドアを自動ドアに変更可能。ドア上部に取り付けるだけの簡単設置のため、工事は1日で完了。最大1400mmのワイドな扉に対応し、風速15m/sでも安全に開閉が可能。

